圧力回転継手 パールロータリージョイント

pearl rotary joints

取扱説明書

A型・B型・C型

この取扱説明書は、製品を使用する前に注意深く読み、
よく理解してください。
いつでも使用出来るように大切に保管してください。

株式会社 昭和技研工業
SHOWA GIKEN INDUSTRIAL CO., LTD.

パールスイベルジョイント取扱説明書

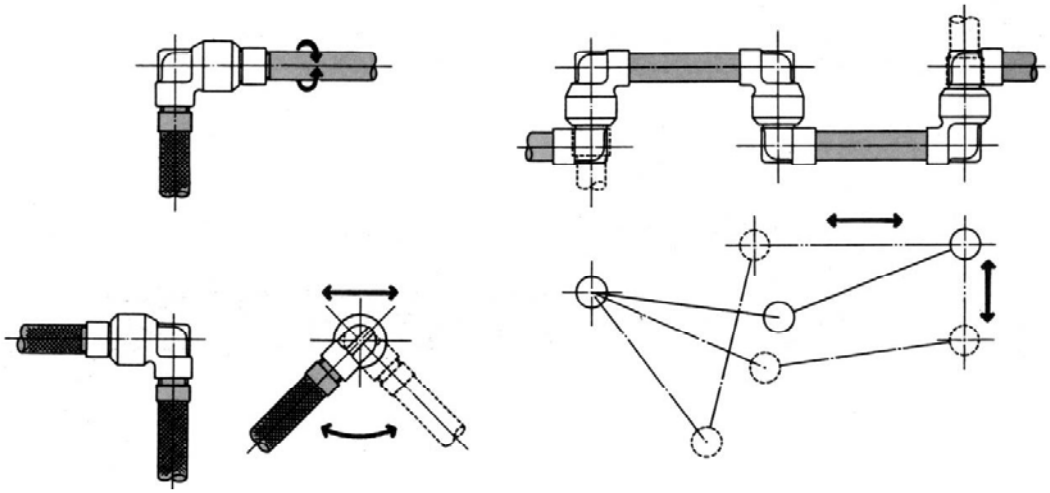
1. 取扱のご注意

A. 本器は、ただちに取りつけ使用できる状態で納入されますから、調整は不要です。
B. 取りつけるまで、清浄且つ安定した状態で保管してください。
C. 本器に、衝撃をあたえたり、足場などにしないでください。

2. 取付けのご注意

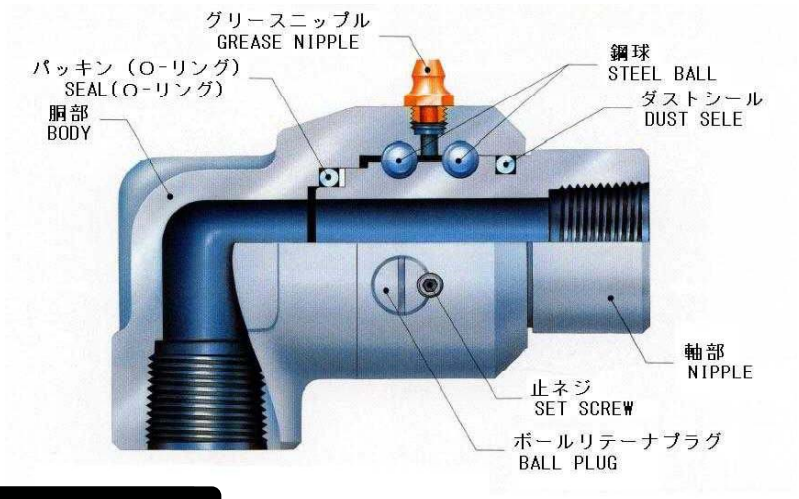
A. 流体が、りん酸エステル系作動油・塩素化炭化水素系作動油・有機溶剤・酸類の場合には、標準パッキン材質(NBR)は使用できません。カタログに示されている用途、使用条件以外には使わないで下さい。流体の漏れにより、爆発や火災を引き起こす恐れのある流体、その他可燃性流体及び特異な流体、腐食性のある流体には使用しないで下さい。カタログに示されている用途、使用条件以外に御使用の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。
B. スイベルジョイントのボールベアリング部は精密に仕上げられ、<ガタ>がありませんのでパイプラインの動きはジョイントのスイベル方向のみに限定されます。従ってパイプラインの動きを充分ご検討されてスタイルの選定をおこなってくだ.さい。
C.モーメント荷重の大小がジョイントの寿命を大きく左右いたします。配管にあたっては、ジョイントに大きなモーメント荷重を与えぬようにしてください。
D. スイベルジョイントは、ロータリージョイントとは異なりますので、連続回転に使用することは正しくありません。しかし、極めて低速では充分使用できます。
E. ネジ型のものは、ネジ部にシールテープを用いて正しく取りつけてください。フランジ型のものは、ガスケットを使用し、ボルトを均等に締めつけてください。
F. スイベルジョイントは、パイプラインのフラッシングを充分に行ったあとに取付けてください。流体内に異物が混入している場合には、流路にストレーナーを取り付けてください。

パールスイペルジョイントの使用法



溶接する場合は下記の点にご注意下さい。

A. パッキン及びダストシールに対する過度の熱影響を防ぎ、グリースの劣化を防止するため分解して溶接を行うことが原則です。
B. ボールレース部が熱影響を受け寸法変化を防ぐために、溶接中はボールレース部の温度が 100℃以上にならぬように水を含ませた布などをまきつけてください。
C. 溶接作業中、機械仕上げ面を損傷しないよう取扱いには充分に注意してください。溶接のスパッターが付着する懸念のある仕上げ面にはカバーなどをかけてください。
D. 溶接完了後、胴部・軸部を洗浄後、組立てを行ってください。



3. 保守のてびき

パールスイベルジョイントは、スイベル及びシールの機能を保うためボールベアリング及びパッキンには、常に潤滑グリースで被膜されていなければなりません。
潤滑は常温で正常に使用されている場合は、パッキンの交換時の給脂で充分ですが、高温で使用される場合は 1 週間に 1 度程度の給脂が必要です。
給油するときは、排油口のプラグをはずしてから、グリースニップルより給油してください。
※昭和シェル石油〔アルバニアグリース〕を使用しています。
スイベルジョイントが正常に使用されている場合は、軸部のパッキン摺動面の摩耗又はパッキンの老化が進行した時に漏洩を生じます。この時点が寿命ですのでパッキンを新品と交換して下さい。

分　　解

胴部の止ネジを六角レンチで外し、ドライバーでボールリテーナプラグを外します。次にボールリテーナープラグ側を下向きにし、軸部を反復回転させスチールボールを全部取りだすと胴部から軸**部を引きぬくことが出来ます。**

点　　検

各部品を洗浄し損傷の有無を確認してください。特にパッキン・ダストシールの摺動面の摩耗及びボールレース部の損傷を点検してください。

部 品 の 交 換

補修部品はパールスイベルジョイントの型式、サイズ及び使用流体名をご確認の上、当社純正部品をご使用ください。

〔パールーPearl は、㈱昭和技研工業製品の商品名です〕

組　　立

胴部・軸部のパッキン部とダストシール部の摺動部にグリースを塗布し、新しいパッキン(O ーリ

ング)を胴部にセットします。(高圧用の場合は軸部にバックアップリングを入れます。)軸部にダストシールをセットし、胴部に軸部を少し押しつけた状態で軸部を反復回転させながらスチールボールを入れます。

次にボールリテーナプラグも軸部を反復回転させながらセットし、止ネジで止めます。軸部を数回転させ異状がなければグリースを給脂してください。

使用上の注意事項

A. 流体の漏れが生じた時は、速やかに、バルブを閉めて流体を止め、機械の運転を停止して修理を行ってください。

B.本器の、取外しは、機器配管の中の流体が完全に抜けて圧力＝０で温度が完全に下がっていることを確認後、施行してください。

株式会社 昭和技研工業
SHOWA GIKEN INDUSTRIAL CO., LTD.

本社・工場　埼玉県北足立郡伊奈町小針新宿 1247
〒362-0808　ＴＥＬ（０４８）７２８－８３２１㈹
ＦＡＸ．０４８－７２８－８３６０
東京営業所　東京都北区赤羽２－６４－１１
〒115-0045　ＴＥＬ（０３）３５９８－１４００㈹
ＦＡＸ．０３－３５９８－２７００
大阪営業所　大阪市北区豊崎２－９－６
〒531-0072　ＴＥＬ（０６）６３７１－８３４１㈹
ＦＡＸ．０６－６３７１－６２８３
名古屋営業所　名古屋市名東区高針台１－１０７
〒465-0054　ＴＥＬ（０５２）７０１－４０６８㈹
ＦＡＸ．０５２－７０４－４０５１